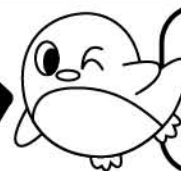


ペンギンレポート



発行所
市民フォーラム
〒183-8703
府中市宮西町2-24

暑い夏! 府中版事業仕分け



▲甲子園のような暑い闘いが…。事務事業点検風景

この夏、府中市初の事務事業点検（事業仕分け）があり、2日間、2会場で、40事業が仕分けされました。両会場とも、暑い夏をさらに暑くする議論が展開されました。

仕分け人から、府中市は他の自治体がやりたくてもできない事、やりたい事をしっかり行っているとの評価がありましたが、その半面、「効率性・効果性に無頓着になってやしないか」との言葉も。

その言葉の通り、ムダを廃し、将来のためのグランドデザインを描かなければなりません。傍聴は自由です。来年も行われますので、多くの方に来ていただきたいと思ひます。

新庁舎建設の基本構想を策定

現在の府中市本庁舎は、西庁舎が昭和34年、東庁舎が昭和45年、北庁舎が昭和62年に建築されました。一番古い西庁舎は建設されてから、51年を経過し、また、平成21年の耐震診断（表1）において、西庁舎は危険性が高い、東庁舎の一部は危険性があるとの結果がでました。（表2）

こうした老朽化や耐震性の問題に加え、IT化、バリアフリー対応への限界や維持管理経費の増大もあり、市庁舎建て替えの準備が始まりました。

今年の6月に、建築家3名を含む市庁舎建設検討協議会（平成22年7月設置）から、基本構想（案）が出され、平成23年6月21日～7月20日のパブリックコメント（意見公募）を経たのち、基本構想が策定（平成23年8月）、8つの整備パターンが示され、今定例会の市庁舎建設特別委員会において了承されました。



▲議会のある西庁舎の一部階段が使用禁止に。

活かそう! 市民の声を!

今後は、市民部会、職員部会を立ち上げ、整備パターンを比較・検討し、絞り込みます。

先のパブリックコメントでは、1ヵ月間に5人の市民から23件の意見が寄せられましたが、市庁舎建設は、府中駅南口再開発とともに、府中の将来を占う一大プロジェクトです。

多くの市民、専門家の知恵を結集することが何よりも重要です。府中市は、「市民参加の検討体制を確立し、市民の意見・要望を最大限に尊重する」としていますので、今後も機会を捉え、多くの市民のみなさんに、議論へ参加していただきたいと思ひます。

■表1 耐震診断結果

建物区分	診断範囲	ls値(構造耐震指標)	建築年
西庁舎	地下1階～地上3階	0.32～0.64	昭和34年
	塔屋1階～3階	0.10～0.76	
西庁舎増築	地上1階～3階	1.06～2.03	昭和54年
東庁舎	地下1階～地上5階	0.40～0.60	昭和45年
	地上6階～8階	0.69～1.14	昭和54年
	塔屋1階・2階	0.84～1.71	
東庁舎増築	地下1階・地上1階	1.03～1.06	昭和54年

■表2 構造耐震指標(ls値)

危険性が高い ～0.3
危険性がある 0.3～0.6
危険性が低い 0.6～

22年度決算の認定！ 決算特別委員会

9月22日から5日間、決算特別委員会が開かれました。この特別委員会は、全員で質疑を行います。市長部局は、市長をはじめ、副市長、教育長、部長、課長などが答弁のため待機しています。

私も3回ほど質問に立ちましたが、延べ80回にも及ぶ質疑が時間制限なしで繰り広げられます。このような緊張感のある決算特別委員会を経て、10月3日の本会議において賛成多数で22年度決算が認定されました。

高齢者の住まいを考える 一般質問

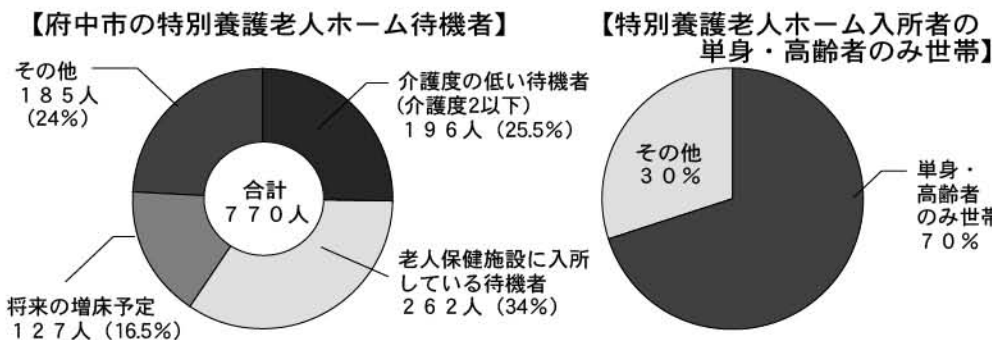
今年の4月に、「高齢者の居住の安定確保に関する法律」が改正されました。また、来年は改正介護保険法が施行され、これまでの家族同居世帯を標準としたサービスから、単身高齢者、高齢者のみ世帯を支えるサービスへと軸足を移します。法改正のポイントと背景、合わせて府中市の高齢者の住まいの現状と将来の展望について質問しました。

高齢者の住まいについての現状認識と今後

福祉保健部長： 今後、単身及び高齢者のみの世帯が増加することで、本人及び同居家族自身の身体能力が低下し、生活に支障が生じる高齢者が増えていくことが予測されます。住み慣れた自宅で少しでも長く生活できるよう、住宅改修をはじめ、見守りを含めたさまざまなサービスを調整することが最も重要です。

一方、特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設サービスにウェイトがかかることによって、介護保険財政への影響につながることも予想されます。

府中市では、多様な住まいの選択肢を広げることを高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の中に位置づけており、サービス付き高齢者向け住宅も、新たな選択肢の一つと考えております。



不足するバリアフリー住宅

地域の中で、いつまでも住み続けられるように始まった介護保険ですが、単身高齢者や高齢者のみ世帯では、介護が始まると施設に入所せざるを得ない現状です。背景にあるのは住環境の問題です。

施設に入るに当たり、荷物とともに多くの思い出を整理しなければならない、そういうお年寄りを私は見してきました。誰もが住み慣れた家に住み続けたい、そう願っているはずです。

いつまでも住み慣れた住まいで、自立した生活を送るために、また、介護が始まっても、自宅に住み続けられるような「終の棲家」づくりが急がれます。

バリアフリー化率 (手すり2ヶ所、段差解消、車いすが通行可能な廊下) ⇒ 全国平均 わずか6.7%



山上みのもる

府中市議会議員 会派：市民フォーラム／民主党東京都府中市支部政策副委員長

事務所所在地 〒183-0056

東京都府中市寿町3-9-18-102

TEL・FAX 042-366-3543

E-mail yamagami_229@nifty.com

URL <http://yamagami.a.la9.jp/>

郵便振替 00160-8-607854 (山上みのもる後援会)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しくお願ひします。